

狛江市未来戦略会議（案）について

1 目的

各々の事務事業に精通する若手・中堅職員が、将来に向けて市全体を見据えた施策を展開していく能力を身に着けるため、市長との意見交換を踏まえた上で、中長期的な視点に立った施策を立案するとともに、新しい生活様式の実践等、喫緊の課題を解決するため、テレワーク設備等の充実、非接触型の窓口対応、オンライン会議等を調査・研究し、予算措置等に繋げることで市民福祉の向上を図る。

2 組織体制

○市長

○原則として令和2年4月1日時点で39歳以下の一般事務・一般技術の主任・係長級職員（10名程度を想定）

※派遣中の職員は除く。

※会議は各グループ単位で実施（2グループを想定）

3 スケジュール（事業の流れ）

工程	内容	時期（予定）
1 例規等整備	○例規等の準備	7月
2 組織体制の確定	○各グループのメンバー確定	7月下旬
3 未来戦略会議（第1回）	○本会議の趣旨、方向性、国等の動向について ○持続可能な自治体経営、職員の働き方改革について	8月上旬
4 未来戦略会議（第2回）	○各グループの検討課題を設定 ○グループ内で班分けし、役割等の調整	8月下旬
5 グループワーク	○設定された課題について各グループで基礎調査（現地視察等）を含む施策の検討	8月～11月
6 未来戦略会議（適宜）	○設定された課題について各グループで施策等の検討状況を市長に報告	8月～11月
7 結果報告	○各グループの検討結果を理事者及び部長に報告	12月上旬
8 予算等調整	○市長より各部長へ予算措置等の対応を指示	12月中旬・下旬
9 報告書作成	○各グループリーダー・班長により検討結果のまとめ	1月～3月